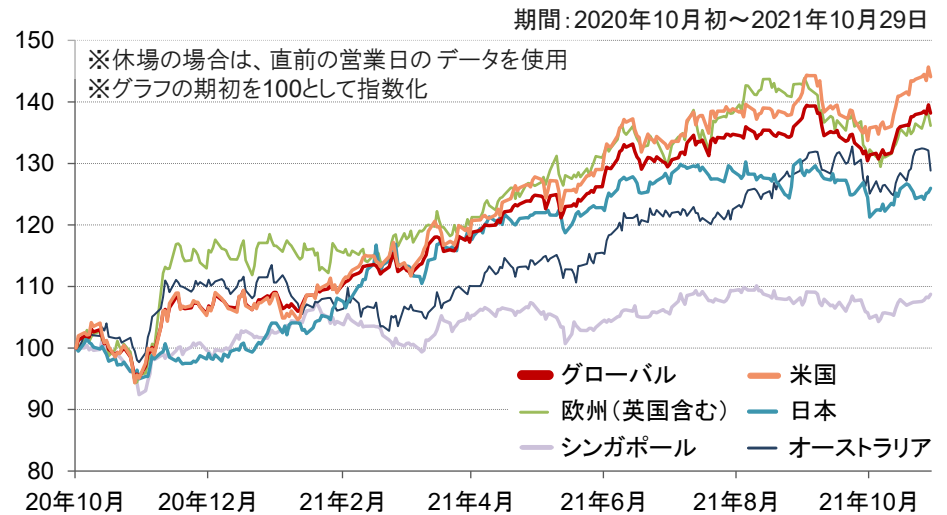


先週(10月25日～10月29日)のグローバルREIT市場の動き

先週のグローバルREIT市場は、長期金利が上昇した欧州や豪州で軟調となったものの、それ以外は安定的に推移し、全体では前週末比+0.2%となりました。

- 米国では、主要企業の好決算が続き、主要株価指数が最高値を更新するなか、REITも良好な推移となりました。セクター別では、業績期待などを背景にデータセンターや物流系などを中心に上昇しました。
- ユーロ圏では、ECB(欧州中央銀行)が利上げ観測を強く否定しなかったことや、10月の消費者物価指数速報値が予想を上回ったことなどを背景に、利上げ前倒し観測が強まり、長期金利が上昇したことなどがREITの重しとなりました。また、仏小売REIT大手が発表した業績報告で、順調な業績回復が示されたものの、通期の業績見通しが市場予想を下回ったことなどは嫌気されました。
- オーストラリアでは、RBA(オーストラリア準備銀行)が市場予想に反して国債購入計画を発表しなかったことが嫌気され、長期金利が上昇したことなどがREITの重しとなりました。一方、シンガポールでは、7-9月期決算発表などで好調な内容が相次いだことが好感されました。

各国・地域のREIT価格の推移



各国・地域別のREIT市場および為替の動き

● 2021年10月29日時点(1週間前=10月22日、3ヵ月前=7月29日、6ヵ月前=4月29日、1年前=2020年10月29日、3年前=2018年10月29日) なお、休場の場合は、直前の営業日のデータを使用

| 国・地域 | 先週末 | 騰落率(%) | | | | |
|----------|----------|--------|-------|-------|------|-------|
| | | 週間 | 3ヵ月 | 6ヵ月 | 1年 | 3年 |
| グローバル | 741.31 | 0.2 | 2.8 | 10.9 | 44.3 | 37.9 |
| 米国 | 1,813.82 | 0.3 | 4.0 | 13.2 | 50.7 | 46.1 |
| カナダ | 1,492.22 | 0.2 | 4.7 | 15.4 | 50.4 | 39.0 |
| 欧州(ユーロ圏) | 611.60 | ▲ 1.1 | ▲ 4.5 | 5.0 | 48.9 | ▲ 6.3 |
| 英国 | 103.57 | 0.3 | 1.1 | 9.5 | 40.3 | 20.1 |
| 日本 | 552.69 | 1.4 | ▲ 2.6 | 3.6 | 30.7 | 35.3 |
| 香港 | 862.68 | 0.5 | ▲ 7.2 | ▲ 3.1 | 19.9 | 4.8 |
| シンガポール | 774.55 | 1.2 | ▲ 0.6 | 1.4 | 15.3 | 29.7 |
| オーストラリア | 1,026.58 | ▲ 2.5 | 6.6 | 12.8 | 31.4 | 39.2 |

| 為替(対円) | 先週末 | 騰落率(%) | | | | |
|------------|--------|--------|-----|-------|------|-----|
| | | 週間 | 3ヵ月 | 6ヵ月 | 1年 | 3年 |
| 米ドル | 113.95 | 0.4 | 4.1 | 4.6 | 8.9 | 1.4 |
| カナダ・ドル | 91.93 | 0.2 | 4.5 | 3.7 | 17.1 | 7.5 |
| ユーロ | 131.77 | ▲ 0.3 | 1.3 | ▲ 0.2 | 7.9 | 3.1 |
| 英ポンド | 155.99 | ▲ 0.1 | 2.1 | 2.7 | 15.3 | 8.5 |
| 香港ドル | 14.66 | 0.4 | 4.0 | 4.5 | 8.6 | 2.3 |
| シンガポール・ドル | 84.51 | 0.4 | 4.4 | 2.9 | 10.5 | 4.1 |
| オーストラリア・ドル | 85.76 | 1.2 | 5.9 | 1.4 | 16.6 | 8.2 |

※為替の騰落率がプラスの場合は各通貨高、マイナス(▲)の場合は円高
 ※為替レートは、原則としてニューヨークの17時時点のものです。

- 当資料中のREIT価格については、S&P REIT指数のグローバルおよび各国・地域別指数(現地通貨ベース・トータルリターン)のデータを使用しています。各指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、その提供元に帰属します。
- 信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。